



ふんぽり

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.34

2022年10月発行

親善友好都市交流 再開!

世界的なコロナウイルス感染症拡大により、約2年間、海外親善友好都市との直接の交流は中止となっていました。しかし、今年6月から日本の入国規制が緩和されたことにより、7月にはイギリス・ボストン町より高校生6名と引率者2名の訪問団、そして8月にはドイツ・ラウンハイム市より3名の訪問団が白山市を訪れました。

各訪問団は、感染対策を取りつつ、市内視察や日本文化体験、市民との交流を行い、相互理解と友好を深めました。



▲ボストン町訪問団とホストファミリー。吉野谷セミナーハウスで、“流しそうめん”や“すいか割り”など日本の夏を満喫しました。



▲ボストン町生徒のフレディ君が滞在中に誕生日を迎え、みんなでお祝いしました!



▲市長表敬において、美川刺繍の記念品を贈呈する山田市長とラウンハイム市のダーフィット・レンデル議長(左)

C · O · N · T · E · N · T · S

■ 特集 親善友好都市交流 再開	1 ~ 3
■ HIA トピックス 友好都市を通じたウクライナ募金	3
■ 国際交流サロンのページ	4 ~ 5
■ HIA だより	6
■ ホームステイ交流OBコーナー	7
■ HIA からのお知らせ	8

特集

ボストン町高校生訪問団来市

(7月20日～28日)

コロナ禍で直接の交流が中止となる中、ボストン町と白山市の中高生は昨年7月よりオンライン交流を続けていました。今年7月のボストン町訪問団の来市によって、ようやく直接顔を合わせて触れ合うことができ、例年より短い滞在期間ではありましたが、一緒にプログラムを楽しみ、友好を深めました。

ホストファミリーとの交流のほか、一行は協会サポーターによる日本文化体験、通訳翻訳部会員のガイドによる鶴来視察、市内スポーツ団体に所属する小学生との交流、白山ろく地域でのアクティビティなどを行い、白山市で楽しい思い出をたくさん作りました。

交流のようす



▲英会話サークル「しゃべらんと」の皆さんによる日本語レッスン。滞在中、ボストン町生徒は習った日本語をたくさん使っていました。



▲日本文化サポーターが中心となり、ふるさと館にて浴衣の着付けと茶道体験を行いました。



▲浅野太鼓にて和太鼓体験。「サスケ」の皆さんから教わり、最後は曲を演奏できるようになりました！



▲白峰にて川遊び体験。生徒たちは冷たい川の水をかけあったり、泳いだりと大自然を満喫しました。



▲美川スイムの小学生たちと“ゴールボール”で交流しました。試合はみんな真剣勝負！とても盛り上がりました！



▲交流パーティーでは、ボストン町生徒のダンスパフォーマンスに白山市生徒も飛び入り参加！会場全体が一体感に包まれました。

ラウンハイム市訪問団来市

(8月28日～30日)

平成9年（1997年）に友好都市を締結してから今年で25周年を迎えるラウンハイム市より、ダーフィット・レンデル議長ほか2名の訪問団が来市しました。滞在中は、記念式典やライン博士顕彰会主催のライン祭に出席するほか、市内伝統産業等の視察を行いました。



▲市長表敬訪問



▲友好都市提携のきっかけとなったライン博士の顕彰碑前にて地元の中学生たちと



▲石川県手取川総合開発記念館内にある「ライン博士関連コーナー」にて

白山市国際友好表彰

「ラウンハイム市・白山市 友好都市提携 25 周年記念式典」において両市の友好交流にご尽力いただいたラウンハイム市長トーマス・ユーヘ氏と金沢大学名誉教授楠根重和氏へ「白山市国際友好表彰」を贈呈しました。



▲ユーヘ市長に代わり表彰を受けるレンデル議長（左）と楠根教授（中央）。楠根氏は両市の友好都市提携に導いた立役者であり、長きにわたり友好関係にご尽力いただいております。



▲ユーヘ市長（写真右）は両市間の友好発展へのご尽力や世界平和への取り組みなど顕著なご功績がありました。（写真は 2017 年の再調印時）

H.I.A. TOPICS

友好都市つながりによるウクライナ支援

2022 年 2 月 24 日、ロシア軍がウクライナに侵攻し、世界平和が大きく脅かされることとなりました。現地では、半年以上が経過した現在も戦闘が続いており、ウクライナのひとびとの苦難が続いています。

本市の友好都市であるドイツ・ラウンハイム市は、同市から約 2,000 キロ東の距離にあるウクライナ・ルブヌイ市と友好関係にあることから、いち早く現地に向けた支援に動いており、ラウンハイム市長自らトラックで救援物資を届けるなどの支援を行っています。

そこで当協会では、親善友好の推進と人道的支援の観点から、白山市との協働の取り組みとして、ラウンハイム市における救援活動を支援することとしました。



▲国際交流サロンに設置した支援金の受付箱



▲福田会長による取り組みの報告（4 月 25 日）



▲ウクライナ避難民から届いた感謝の寄せ書き

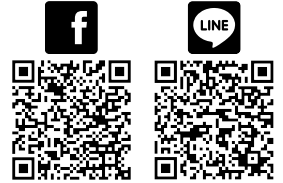
4 月 1 日より国際交流サロンに支援金の受付箱を設置するほか、協会や市のイベントなどで呼びかけたところ多くの方々や団体からご寄附があり、これまでに約 220 万円の支援金をラウンハイム市へ送金しています。

支援金は食料や消防備品の購入費などに充てられており、ウクライナ避難民の方からは感謝の寄せ書きも届いています。なお、支援金は現在も受け付けておりますので、引き続き多くの皆様からご支援をいただきたくお知らせします。

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00
 休館日 月曜日（月曜日が祝日でも休館）
 場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任文化会館カルチャー棟2階）
 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
 HP http://hia-salon.jp/

国際交流サロンのSNSでつながりましょう。
 LINE公式アカウントではイベント情報をお知らせしています。



最近の日本語クラス

新型コロナの入国制限が緩和され、新規登録の実習生、エンジニアが急増しています。土曜日、日曜日は初級、中級、漢字、会話などのクラスがあります。国籍も様々ですが、皆さん助け合いながら勉強しています。日本語がわかるようになり、日本の生活が楽しくなるようにサポートできればと思います。



▲最近の日本語クラスの様子

わいわいカフェ 7月のテーマは「浴衣をきてみよう」

着付けサポーターさんから教わり、外国人参加者が浴衣の着付けに挑戦しました。夏らしい好みの柄の浴衣に、カラフルな帯を選ぶところからスタートし、サポーターさんの指導で悪戦苦闘？の末、素敵に変身しました。

皆さんの感想は「思っていたより涼しい。」「難しいけどもう一度着たい。」「子どもにも着せたい。」など…日本文化を知る良い機会になりました。



「外国人パパ・ママ対象 保健師さんお話し会」

8月21日(日)

育児に関する制度や支援が日本と母国で異なるため、子育てに不安を抱える外国人パパ・ママからの相談が増えています。

そういった方たちをサポートするため、白山市いきいき健康課の保健師・古木雅世さんを講師に迎え、妊娠から子育て中に必要な手続きや、赤ちゃんの予防接種、乳幼児健診などの説明を受けました。フィリピン、ベトナムの6家族が参加しました。

参加者からは「子どもがご飯を食べなくなった」や「母乳はどれくらいの量をあげれば良いのか」といった質問が聞かれ、古木さんがやさしい日本語で丁寧に答えました。参加者からは「知らなかった事がわかり、参加して良かったです。」と感想がありました。

これからもこのような機会を設けて、外国の方が安心して日本で子育てできるようにサポートしていけたらと思います。



外国にルーツを持つ児童の夏休み宿題応援

8月3日(水)、4日(木)

外国にルーツを持つ子どもたちは、夏休みで先生に質問ができなかったり、言葉の壁により外国人保護者による学習支援が難しいケースが見られます。そうした子どもたちをサポートするため、今年初めてサロンで夏休みの宿題応援を行い、児童9名と、彼らを支援する7名のサポーターが参加しました。

参加した3名の女子生徒は年も近く、絵を描くという共通の趣味があることがわかり、すぐに仲良くなりました。2日目になると生徒たちはサポーターさんにも慣れてきて、集中して勉強していました。

コロナ禍により、久しぶりにサロンに来た子どもたちもおり、サポーターさん方も彼らの成長ぶりを喜んでいました。



「エヴァンさんと一緒にアメリカを知ろう」

4月17日(日)

アメリカ出身の白山市国際交流員(CIR)エヴァン・ローステッターさんが講師となり、アメリカ文化や故郷オハイオ州での暮らし、外国人から見た日本のイメージを紹介しました。当日は、オンラインを含めて33名が参加し、アメリカへの理解を深めました。

【参加者のコメント】

「プレゼンテーションとても上手でした。魚釣りなどお話ししてくださり、アメリカの生活がよくわかりました。」

「日本語がとても上手で驚きました。これからアメリカ英語に触られるので嬉しいです。」

▶海兵隊として働いていた自身の経験から、アメリカで人気のポケモンの話まで盛りだくさんの内容でした。



子育て交流会「くれよんカフェ」

NPO法人「おやこの広場あさがお」と連携して行っています。子育てをしている外国人家族の悩みや相談、また日本人家族との交流の場として、2ヶ月に1回、開催しています。

8月のテーマは「日本のまつり」でした！

この日は香港、日本の7家庭が参加し、日本のまつりや花火大会の話で盛り上がりました。また、能登出身の日本人ママが地元のまつりを熱く語ってくれ、みんな興味津々に聞いていました。後半は「おやこの広場あさがお」さんが縁日のあそびを行い、子どもたちも大喜び！



▲縁日で遊ぶ子どもたち。夏らしく、甚平を着て参加してくれた子もいました。

子育て中の日本人家族の参加も大歓迎です！
今後の開催日はサロンHPやフェイスブックでお知らせします。

気軽に作れる世界の料理教室～アメリカ編～

7月3日(日)

アメリカ出身のアンさんとブライアンさんが講師となり、福祉ふれあいセンターでアメリカ料理教室を開催しました。当日は大人12名、子ども5名が参加し、チキンホットパイやアップルサイダーなど全4品を作りました。

アップルサイダーはフルーツとスパイスで作る秋の飲み物で、できたてのホットと事前に準備しておいたアイスとの2種類を飲み比べました♪

オープンや圧力鍋を使う本格的なレシピで調理しましたが、日本の家庭でも気軽に作れるように「簡単バージョン」のレシピも教えてくれ、参加者は「家でも作って家族に食べさせてあげたい。」と喜んでいました。



▲参加者全員での集合写真



▲チキンホットパイの作り方を教えるアンさん(左)

外国人住民へ着付けサポート

4月7日(木)

中国出身の牛小婧(ぎゅう しょうせい)さんが次男の小学校入学式に出席するため、サロンで着付けを行いました。

牛さんは約10年前に来日し、3年前の長男の入学式で多くの母親が綺麗な着物で出席していたのを見て、自分も着物で出席したいと思い、サロンに相談しました。入学式当日、念願の着物を着た牛さんは「日本らしい姿で入学式に参加できて嬉しい。協力してくれた皆さん感謝します。」と話されていました。私たちも晴れの日のお手伝いができ、嬉しく幸せな一日になりました。



▶着付けサポーターによって、ベージュの着物を着付けてもらう牛さん。とてもきれいでお似合いです。

獅子吼高原で協会のPRをしました！

7月30日(土)

- 昨年に続き、獅子吼高原の Gondola Sunset 営業に合わせて白山市国際交流協会の活動PRを行いました。CIRの
- エヴァンさんやベトナム、ミャンマー、中国の外国人住民
- の方にお手伝いいただき、各国にちなんだクイズや多言語
- じゃんけん大会をし、
- 家族連れなどの来場者
- と交流しました。



- ▶じゃんけん大会にはたくさんの親子が参加してくれました！

友だちの輪 (外国人市民を紹介するコーナーです)

FRINGE マリセルさん (フィリピン出身)



私たちはフィリピン出身です。5人家族ですが、長女はフィリピンに留学しています。現在、長男は高校1年生、次女は幼稚園児です。3年前、主人の仕事の関係で愛知県から白山市に家族で引っ越してきました。白山市のことを何も知らなかったのですが、とても不安でしたが、今では楽しく暮らしています。白山市は住むのにとってもいいところだと思います。美しい山々がありながら、海にも近い。季節に関係なく、面白いことがたくさんあります。また、人も温かく、親切です。白山市に引っ越してきてよかったと思います。

サロンに新たな職員が加わりました！

4月からサロンのスタッフとして働いている山田佳乃です。

サロンで働く前は「サロンでTalk!」をはじめ、様々な行事に参加させていただきました。

サロンは白山市にいなながら色々な国の人と出会え、文化に触れる事ができる素敵な場所です。そして長い間、沢山の人の協力とサポートがあったからこそ今のサロンがあると知り、ますますサロンが大好きになりました。

年齢、性別、国籍に関係なく皆さんに喜んで利用してもらえるサロンであり続けるように努めてまいります。どうぞ、よろしくをお願いします。



H.I.A. だより

シンチャオ!ベトナム交流会 in Hakusan

6月19日(日)

白山市内に住む外国人の約7割がベトナム出身の方です。ベトナム文化への理解を深めるため、今回初めてベトナム人と日本人住民の交流会を開催しました。

当日はベトナム人住民19名、地域住民45名が参加し、文化紹介やベトナム語講座、遊びを通して交流しました。会の後半にはグループに分かれて、「日本に来て感じたこと」や「日本人に教えたいベトナムのいいところ」などについて話し合い、ベトナムの皆さんの生活や魅力について知る機会となりました。



▲ベトナムの遊び「バンブーダンス」



▲ベトナム出身のズンさんによる文化紹介(左)とサンさんによるベトナム語講座(右)



◀集合写真。ベトナム人実習生が中心となり、クイズやゲームなどを企画してくれました。カム・オン!(ありがとう!)

多文化共生啓発講演会「やさしい日本語落語」

7月23日(土)

松任学習センターコンサートホールにて、落語家の桂かい枝師匠をお招きし、「やさしい日本語落語」を開催しました。

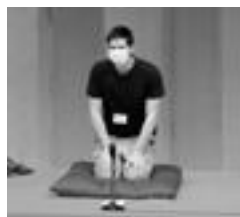
桂師匠は外国人にも伝わりやすい簡単な表現を用いた「やさしい日本語」でオリジナルの小噺を披露し、会場は大いに盛り上がりました。同時に開催した外国人ミニスピーチ大会では、外国人住民4名が母国への想いや将来の夢などを発表しました。その流暢な日本語と気持ちのこもった内容に、来場者からは大きな拍手が送られました。



▲多彩な小噺を披露する桂かい枝師匠



◀外国人ミニスピーチに出演した発表者たち



▶市国際交流員のエヴァンさんも落語に挑戦!

日本語サポーター養成講座

6月18日～9月10日の毎週土曜日

日本語学習を希望する外国人住民が増えていることから、国際交流サロンで日本語を教える人材を育成するため、「日本語サポーター養成講座」を開講しました。

受講者は全12回の講義を通して、日本語の文法や指導方法、地域の日本語教育などについて学び、講座の最終回には、外国人学習者を相手に模擬授業を行いました。

過程を修了した12名は、今後白山市国際交流協会の新たな日本語サポーターとして、活動していただきます。



▲修了式では福田会長より一人一人に修了証書を授与しました。



▲模擬授業のようす

ホームステイ交流OBコーナー

市では親善友好都市3都市と中学生・高校生を対象にホームステイ交流を行っています。(2020年よりコロナ禍で休止中)本コーナーでは、かつてホームステイ交流事業に参加したOB・OGの皆さんからのお便りを通して、青少年期に体験した同事業との関わりについてご紹介しています。

やまむら あきと
山村 壮人さん

田中町在住。高校2年生時に2019年(令和元年)豪州ペンリス市高校生派遣事業に参加。現在は県内の大学に通う傍ら、短期留学制度を利用して海外での体験を積み重ねるなど、日々研鑽中。

「自分を新たな環境に置いて」

ペンリス市派遣プログラムで過ごした11日間は、私だけでなく他のメンバーにとっても今の生活につながる大きな体験だったと思います。というのも、現在、私も友人も国際系学部に通う大学生となり、中には海外の大学に個人で進学している人もいるほどだからです。また、このプログラムのおかげで4年経った今でも常に連絡を取り合う友人を現地で作ることができ、当時の経験は思い出深い私の財産となっています。

ペンリス市は移民人口が多いシドニーの近郊ということもあり、アジア人の私たちも容易に馴染めました。私のホストは韓国人で韓国料理のキンパやわかめスープを家族皆で食べたり、ときには、インドや中国、イギリスの家庭など他のメンバーのステイ先にお邪魔して一緒に遊んだりすることもありました。多くの人種が入り交じって過ごすという日本にはない感覚に新鮮味を感じると同時に、オーストラリアに住む人々の「相手を尊重し受け入れる」懐の深さにも驚かされました。

そして今年、大学の協定校間留学プログラムを通じアイルランド・首都ダブリンに4か月間語学留学しました。今回は比較的長い期間現地で暮らし、単独行動も多々あったため、その分得られることが非常に多かったと思います。アイルランド英語はもちろん、アイルランド語(ゲール語)も多少学ぶ機会があり、改めて言語を学ぶ楽しさを実感しました。また、周りにいた多国籍な留学生や同じ日本の友人たちが私を奮起させる存在でした。以降、私自身の発言力・判断力・コミュニケーション能力が高まったような気がします。

これを一番に発揮したのは留学中の休日に1人で行ったオランダ・ベルギー旅行の時です。オランダ行きの際SIMカードを現地で買うまで、スマートフォンが一切使えず行き方の検索や情報収集ができませんでした。そこで多くの人に直接尋ね、電光掲示板なども頼りに、以前JAPAN TENTでホストファミリーとして受け入れたオランダの方となんと4年ぶりの再会を果たすことができました。

まだ将来就きたい職業が絞れていないため、目指すべきベクトルが定まっていません。今後はまず残り2年間の大学生活をさらに有意義に過ごし、これまでの海外経験をアルバイトや学内外のアクティビティなどで活かせたらなと考えています。



▲ペンリス市の友達で最後の夕食時(2019年)



▲アイルランド留学のクラスにて(2022年)



▲JAPANTENT留学生との再会(左2018年、右2022年)

◎派遣生OBの皆さんからの投稿をお待ちしています。市役所国際交流室 toshikouryu@city.hakusan.lg.jpまで。

H.I.A.からのお知らせ

交流型会話クラス「わいわいカフェ」 ご参加ください♪

毎月テーマ内容について、日本人・外国人参加者で話し合う場です。誰でも参加OK！

日時：毎月第3日曜日 13：30～15：00

毎月最終金曜日 10：00～11：30

各月のテーマはサロンフェイスブック等でお知らせしています。毎回各国の違いや日本の文化など、新しい発見がたくさん！気軽な国際交流の場として、皆さまのご参加お待ちしております♪



親子対象

エヴァンさんとクッキーを作ろう！

アメリカ出身の国際交流員・エヴァンさんがアメリカのクリスマスについて紹介し、一緒にクリスマスクッキーを作ります。

日時：12月4日(日) 10：00～11：30

講師：市国際交流員エヴァン・ローステッター

会場：福祉ふれあいセンター調理室

定員：10組(先着順、申込要)

申し込み：11月15日(火)より受付開始



イベント情報&お知らせ配信中！

サロンの公式LINE、またE-mail会員にご登録いただくと、楽しいイベント(世界の料理教室、国際理解講座など)のご案内や協会からのお知らせが届きます。

ぜひご登録ください！



〈LINE公式アカウント登録方法〉

①右の二次元バーコードを読み取り、「追加」ボタンを押してください。

②「友だち追加」の「ID検索」より、
@805wfnfyと入力してください。



〈メール会員登録方法〉

サロンメールアドレス misalon@asagaotv.ne.jp へ、ご住所、お名前の明記と「E-mail登録希望」と書いて、送信ください。

国際交流の集い2022

今年も開催予定です！【事前告知】

年末の恒例イベントである「国際交流の集い」を、今年も開催します。

松任公民館軽体育室を会場とし、お箏や世界の料理のテイクアウトを実施予定です！



近くなりましたら、会員の皆様にご案内いたします。当日スタッフとしてのお手伝いを募集しています。また、ご意見、グッドアイデアをお持ちの方もお気軽にサロンまでお寄せください。

日時：12月11日(日) (予定)

場所：松任公民館 軽体育室

「外国人コミュニティリーダー養成講座」 開講中！

日本の生活事情や地域ネットワークに詳しい「外国人コミュニティリーダー」を育成する講座が開講しました。ベトナム、中国、フィリピン、アメリカ出身の8名の外国人住民が参加しており、在住外国人の生活相談やサポート、市や国際交流協会からの情報を母語で発信する役割を担ってまいります。

講座は9月17日～12月3日までの期間に全7回実施します。



最終回(12月3日)は日本人住民と外国人住民の意見交換会を行います。ぜひご参加ください！詳しくはサロンまで。

募集の申込み・問い合わせ

国際交流サロン Tel 076-274-3371

E-mail misalon@asagaotv.ne.jp まで

編集後記

今年はイギリス・ボストン町青少年訪問団の受け入れ、ドイツ・ラウンハイム市訪問団の受け入れなど、都市間交流の再開が大きく進んだ1年となりました。ボストン町・白山市の両生徒たちの楽しそうな様子を見ると、オンラインのみで終わらずに対面での交流が実現できて本当によかったと思いました。ただ、プログラムに参加した生徒からは「事前にSNSでやり取りをしていたからこそ、すぐに仲良くなれた」という声もありました。せっかく普及したオンラインの技術なので、これからは対面の交流に上手に取り込んでいけたらいいなと思いました。(K)

発行 ■白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)
事務局 / 白山市役所観光文化スポーツ部国際交流室
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp
白山市国際交流サロン
TEL・FAX076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp